



第4回 五ヶ丘の新しい学校を語るワークショップ°

日時 令和8年7月19日（日）午前10時～正午

場所 益富交流館多目的ホール

五ヶ丘地区教育環境検討協議会

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 こども目線で考えることの大切さ
- 4 「こどもが行きたい」学校づくりのヒント
- 5 グループワーク

主催者あいさつ

五ヶ丘地区教育環境検討協議会 江口会長

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 こども目線で考えることの大切さ
- 4 「こどもが行きたい」学校づくりのヒント
- 5 グループワーク

ワークショップの目的

- 住民主体の話し合いにより「不安や疑問の解消」と「より良い学校のイメージの共有」を図り、**学校再編に対する納得感を高める。**
- 児童数の減少を踏まえて、「学校とこども」を中心に教育環境について議論し、**市が「学校再編の方向性」の検討に活用する。**
（学校再編計画案に活用していく）

ワークショップの全体スケジュール

テーマ・開催日時	内容
①両小学校の長所・特徴・違い 3月7日（土） 16:00～18:00	・両小学校の引き継ぐべき伝統や良い取組を再発見しましょう。
②小規模化（少人数）の影響 ～人数が多いとできること～ 5月10日（日） 10:00～12:00	・将来の児童数の予測も参考にしながら、学校の様子がどうなっていくのか考えてみましょう。
③学校再編への不安、心配 6月14日（日） 10:00～12:00	・不安や心配事を話し合い、どう学校再編すべきかまとめましょう。
④こどもたちが「行きたい」「学びたい」学校①～こども目線でどんな活動・学び・遊びがしたい？～ 7月19日（日） 10:00～12:00	・新しい学校でいきいき活動するイメージを膨らませましょう。 ・新しい学校でこどもたちと地域の大人が関わり合っていくためのタネ（きっかけ）を植えましょう。
⑤こどもたちが「行きたい」「学びたい」学校②～大人目線でどんな風に活動・学び・遊びを支えたい？～ 8月16日（日） 10:00～12:00	
⑥学校と地域のつながり 9月13日（日） 10:00～12:00	

本日

令和 8 年度の予定

5月～9月	10月～12月	1月～3月	3月末
ワークショップの実施 (第2～6回)	・ワークショップのまとめ ・市による学校再編計画(案)の提示	学校再編計画 (案)への意見募集	市による方針決定



この期間に、意見交換の進捗や内容を踏まえて、**市が学校再編計画(案)を作成**します

作成した学校再編計画(案)について、**説明会等により周知**を図ります

いただいた意見等を踏まえ、**学校再編計画を決定**します

説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 こども目線で考えることの大切さ**
- 4 「こどもが行きたい」学校づくりのヒント
- 5 グループワーク

こども目線で考えることの大切さ

豊田市は、「こども起点のまちづくり」に注力しています

こども起点…まちづくりのあらゆる面で大人の都合や既存のシステムではなく、こどもたちの視点や育成を一番の原点に考えること

○第9次豊田市総合計画「ミライ実現戦略2030」

5年間で特に注力する視点1 「こども起点」でまちづくりを考える

「いきいきと暮らす大人の姿」がこどものミライに夢と希望をつくる

- わたしたちが暮らすまちが、これからも魅力ある住み続けたいまちであるためには、本市のミライをつくっていく次世代、すなわち「こども起点」や「こども視点」で物事を捉える必要があります。過去とは全く異なる状況で生きるこどもたちの現状を理解し、その上でこどもたちを支える取組を進めることが大切です。
- わたしたちは、様々なつながり合いを通じて、一人ひとり誰もがいきいきと暮らす姿をこどもたちに伝えることで、まちへの愛着を育むとともに、こどもたちのミライに夢と希望をつくることを目指します。

⇒ こども目線・こども視点で考えることが、まちのミライをつくっていくことにつながります

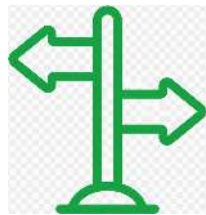
こども目線で考えることの大切さ

こども目線で考えるには、どうすれば？



○こどもの目線を「意識してみる」

こどもの気持ちで、楽しいかな？ 退屈かな？ ワクワクするかな？ 怖いかな？
こどもの身体で、見えるかな？ 届くかな？ 大きすぎるかな？ 重すぎるかな？



○こどもの思いや意見を「聞いてみる」

こどもは、どんなアイデアを思いついたかな？
自分（大人）のアイデアを、こどもはどう思ったかな？

こども目線で考えると、どうなる？



- ニーズをよりの的確に把握でき、**取組が効果的になる**
- 自らの意見を聴かれた体験によって、社会の一員としてこどもの**主体性、自己肯定感の向上**につながる

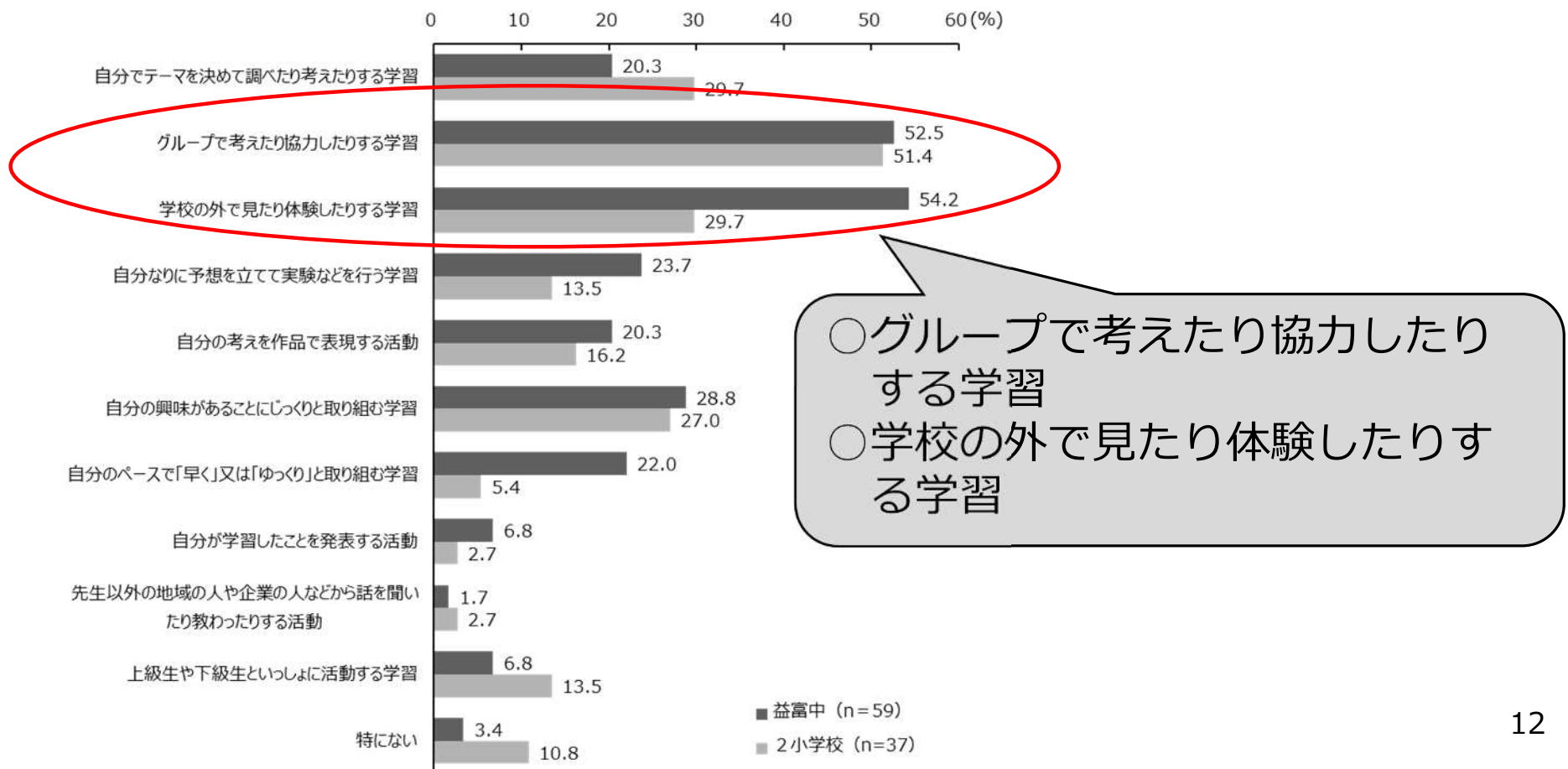
説明の内容

- 1 主催者あいさつ
- 2 ワークショップの目的と今後のスケジュール
- 3 こども目線で考えることの大切さ
- 4 「こどもが行きたい」学校づくりのヒント**
- 5 グループワーク

「こどもが行きたい」学校づくりのヒント

豊田市の教育に関するアンケート調査（令和6年実施）

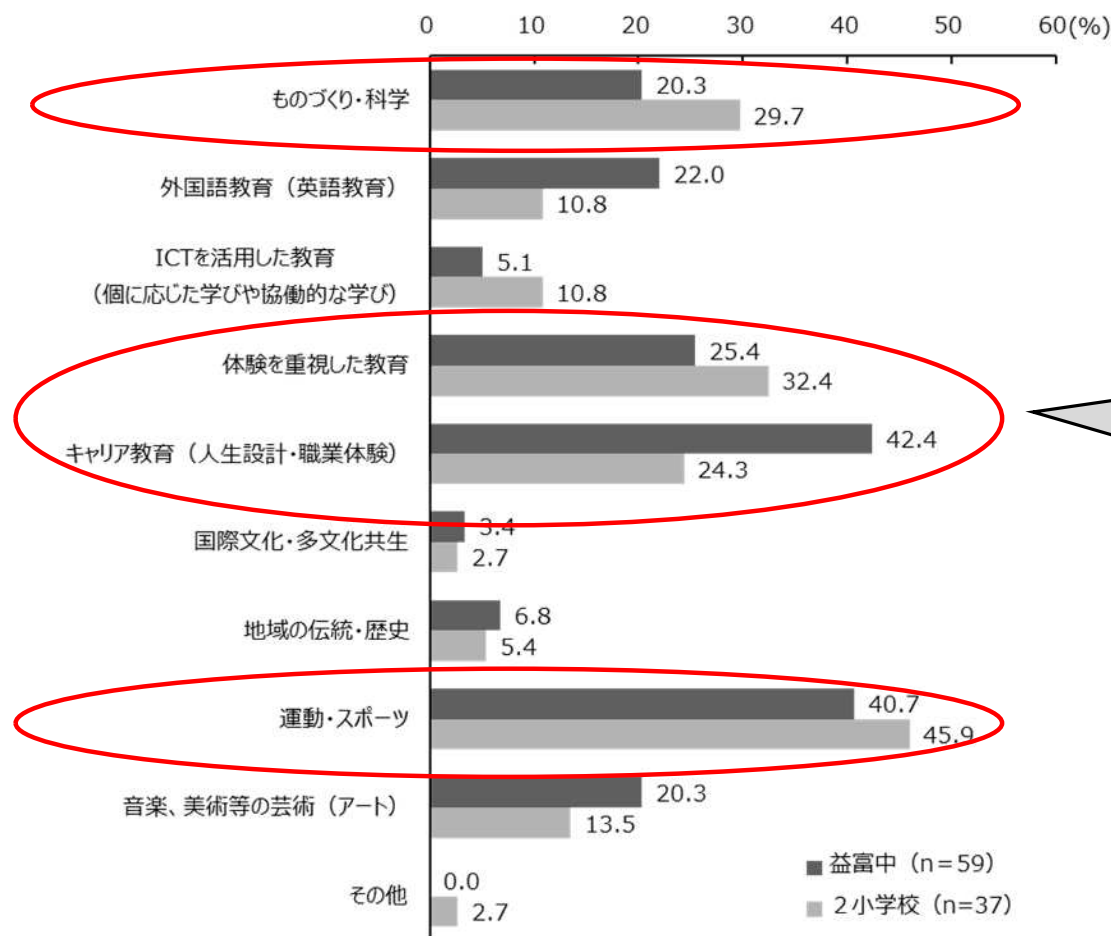
学校でどのような授業や学習が好きですか？（小中学生回答）



「こどもが行きたい」学校づくりのヒント

豊田市の教育に関するアンケート調査（令和6年実施）

あなたは、学校でどのようなことを学びたいですか？（小中学生回答）



- 運動・スポーツ
- キャリア教育
- 体験を重視した教育
- ものづくり・科学

「こどもが行きたい」学校づくりのヒント（事例①）

企業連携で取り組む木工製品の製造・販売

事例：静岡県・浜松市立浜松中部学園

- 各学年の総合的な学習で「生き方・学び方」を学ぶことを重視し、6年生では「中部キッズチャレンジビジネス」として起業体験を実施。
- 近隣の企業の協力で、木工製品を企画・製造し、地元の公園で販売する活動を通して、自分の生き方を考える。
- 利益の目標や、使い道についてもみんなで話し合い、決めていく。

→ こどもたちの「課題設定能力」や「先を見通す力」を育む

キャリア
教育

協力

もの
づくり

体験



▲学校内の5年生に模擬販売

「こどもが行きたい」学校づくりのヒント（事例②）

生活習慣改善と外遊びから学ぶ体力向上

運動

協力

体験

事例：宮城県・東松島市立矢本東小学校

- 保護者等が一体となって取り組める学習参観日「**生活習慣学ぶんDay**」で、**生活習慣について体験しながら学ぶ**機会を創出。
 - 年2回の体力テストを設定し、異学年などの協力関係を作りながら実施。記録用紙で**楽しみながら目標達成**できるよう工夫。
 - 放課後活動・**児童の頑張りを可視化**等により、運動好きが増え、外遊びが好きな児童の割合が9割を継続
- **成長の実感が楽しみながら挑戦する姿を育む**

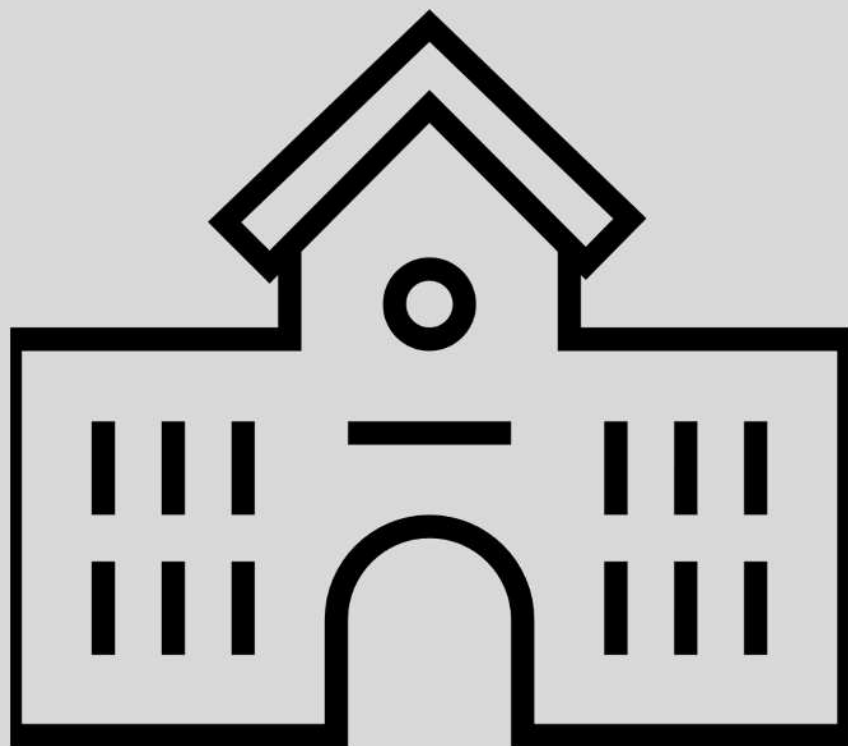
出典：スポーツ庁「子供の運動習慣・運動意欲向上のための取組事例集」



グループワーク

こどもたちが「行きたい」「学びたい」学校

①～こども目線でどんな活動・学び・遊びがしたい？～



ありがとうございました

豊田市ホームページに
豊田市の学校再編の取組や
五ヶ丘地区学校再編検討協議会について
掲載しています。

＜豊田市ホームページ＞

くらしの情報 ⇒ 学校・教育 ⇒ 少子化等
に対応したより良い教育環境の実現に向け
た取組